



MSD12-28001

シグネチャーイルミグリル

取付・取扱要領書

この度はモデリスタ シグネチャーイルミグリルをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取り扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	適合車種	型式	年式	備考
MSD12-28001	ヴォクシー	MZRA9#W ZWR9#W	'22.1~	

・最新の適合情報はモデリスタ カタログサイトをご覧ください。 <https://www.modellista.co.jp/>



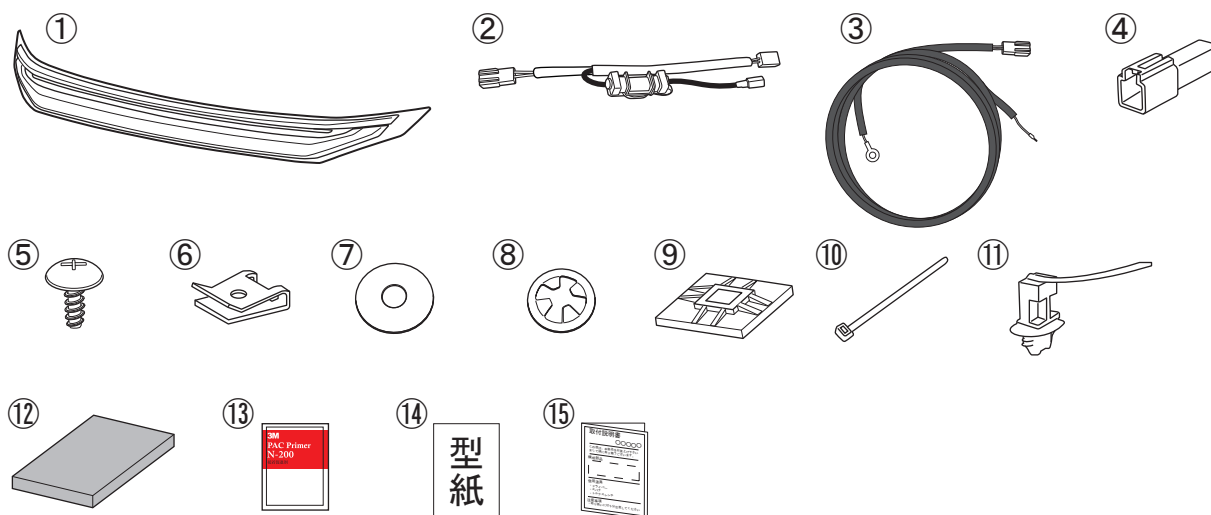
■ 構成部品

No.	品名	品番	個数	備考
①	シグネチャーイルミグリル		1	
②	電源ハーネス		1	
③	中間ハーネス		1	
④	中間ハーネス用コネクター		1	
⑤	タッピングスクリュー		2	5×14
⑥	Jナット		2	
⑦	ナイロンワッシャー		2	
⑧	丸型スピードナット		2	
⑨	結束バンドベース		1	
⑩	結束バンド		10	150mm (注1)
⑪	押し込みクランプ		2	パノミックビューモニター非装着車用
⑫	クッション		1	
⑬	PACプライマー	08867-00220	1	N-200
⑭	型紙		1	
⑮	取付・取扱要領書		1	本書

注1：パノミックビューモニター（PVM）非装着車の場合は2本余ります。

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行っていただくこと



警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項を守り作業を行ってください。
- ❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが不足すると脱落等により重大な事故や故障を招くおそれがあります。



注意

- ❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行い、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について(別添の脱脂作業要領も参考にしてください。)

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、記載以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナー等の溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

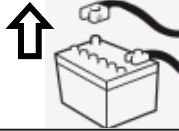
- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がすと、接着力が低下し再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。低温で接着した場合、両面テープが剥がれる可能性があります。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が不足した場合、両面テープが剥がれる可能性があります。
- ⊘ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取り付けが終わったら

- ❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

シグネチャーイルミグリル配線取り付け上の注意事項

- ❗ ビニールテープをご使用の際は、必ず難燃性の耐熱ビニールテープを使用してください。
推奨品：V9650-0484（耐熱ビニールテープ・灰色）
- ❗ バッテリー復元作業後は、機能部品に初期化や調整が必要な場合があります。
取り付け作業後は必ず該当車両の修理書に従い、初期化・調整作業の有無をご確認ください。



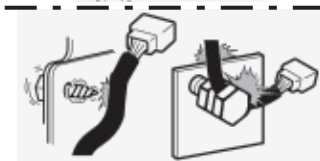
取り付ける前に

- ・作業前に、必ずバッテリーの⊖側ケーブルをははずす。

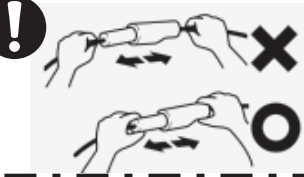


部品を取り付ける際は

- ・部品サイズにあった工具を使用する。

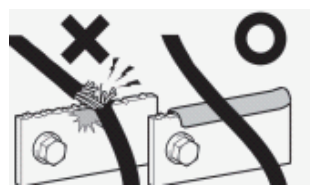


- ・部品の裏側に注意して、配線の噛み込みやビスの接触、断線に十分に注意する。



配線の取りまわしは

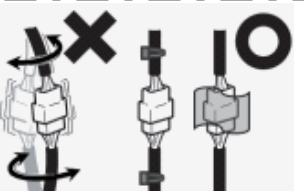
- ・コネクタは必ず本体を持ってはずし、配線は引っ張らない。



- ・バリ・エッジ部は、ガムテープ等で保護をする。



- ・コネクタは「カチッ」と、音がするまで確実に接続して、配線は無理なチカラで引っ張らない。



配線のクランプは

- ・結束バンドは配線が動かない程度に締めて、締めすぎない。
- ・結束バンドの余った部分は、エッジにならないようにカットする。
- ・カットした末端が、ほかの配線と接触しないようにする。
- ・コネクタが振動により異音がしないように、確実に固定する。

⚠ 注意



エンジンルーム内、ラジエータキャップ付近に配線を通したり、部品を取り付ける際、腕等がラジエータキャップに接触しやすく、上着など着用している場合にラジエータキャップが緩んだことに気づけない場合があります。ラジエータキャップと接触し緩んだ場合、オーバーヒートに繋がる可能性があります。ラジエータキャップに限らず、用品取付作業後には作業部位周辺に異常がないかご注意ください。

⚠ 注意



バッテリー接続中に作業を行なう際は、エアバックセンサー等に衝撃を与えないように十分に注意して作業を行なってください。

■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図 1～2
2. 取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ） 3
3. シグネチャーイルミグリル配線取り付け上の注意事項 4
4. 目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図 . . . 5
5. 取付準備、取付要領 6～17
6. 取付完了後の点検・注意事項 18
7. 配線図 18

■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具
- ・ 加工用工具（ハサミ・カッター等）・ヤスリ・ニッパー・保護メガネ
- ・ 電動ドリル（刃：3.0mm/6.0mm/8.0mm/10.0mm）・ホールソー（20mm）
- ・ 軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ（6mm幅以下）・養生テープ
- ・ イソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 保証について

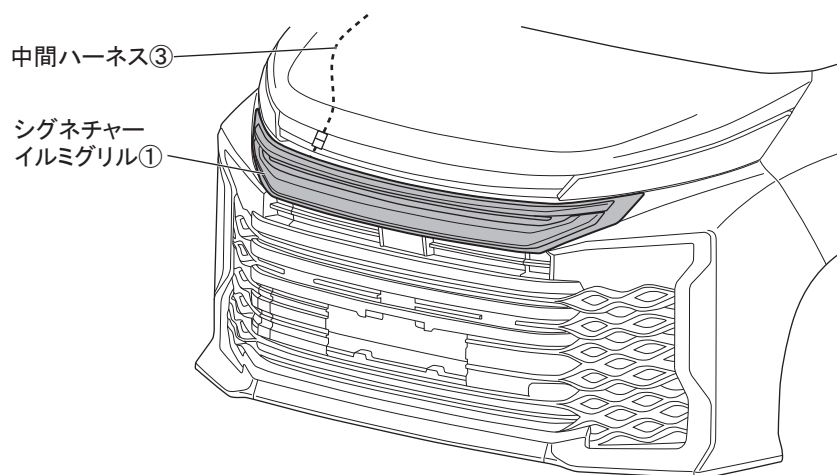
本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。

（1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで）

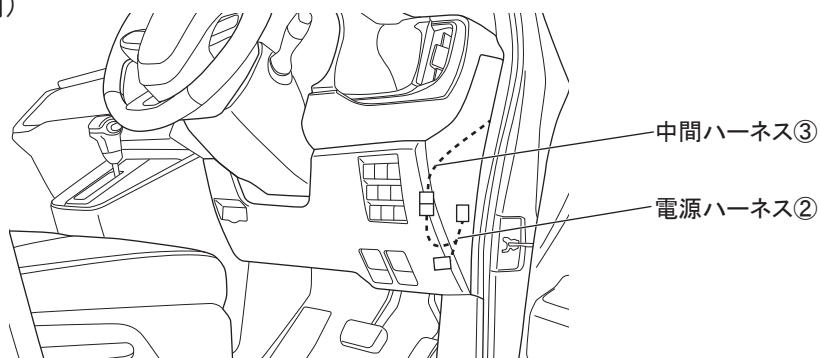
※保証の詳細はモデリスタ パーツカタログサイト<<https://www.modellista.co.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図



室内（運転席側）



■ 取付準備、取付要領

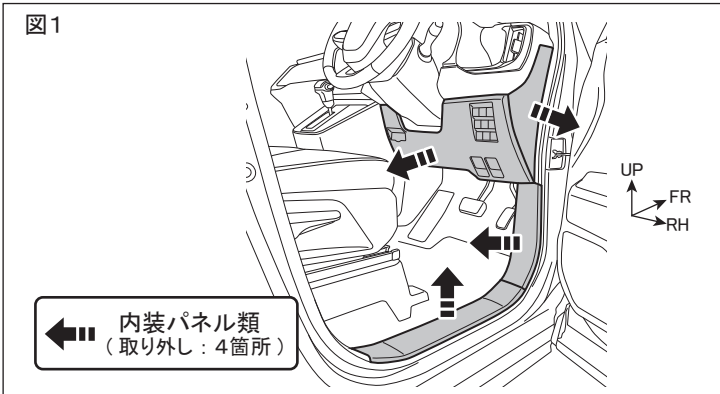
□ シグネチャーイルミグリル取付準備 -1

【車両部品の取り外し作業】

1. バッテリーのマイナス端子を取り外す。
2. 該当車両の修理書に従い、フロントバンパーを取り外す。

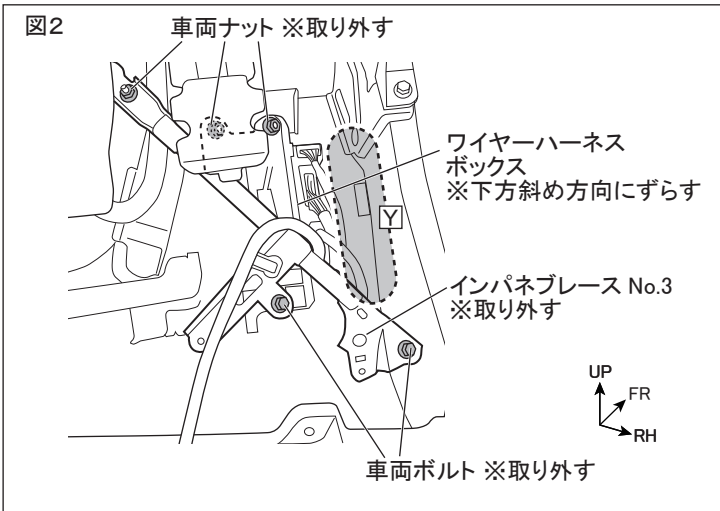
△ 注意：取り外した車両部品、車両スクリュー、車両クリップは再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

図1



3. 図1のように運転席側の内装パネル類を取り外す。(4箇所)

図2



4. 図2のように車両ボルト (2箇所)、車両ナット (3箇所) を取り外し、インパネブレース No.3 を取り外してワイヤーハーネスボックスを下方斜め方向にずらし、図示Y部に手が入る程度のスペースを確保する。

△ 注意：取り外した車両部品、車両ボルト、車両ナットは再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

👉 アドバイス：取り外しの詳細は、トヨタ自動車発行の修理書をご参照ください。

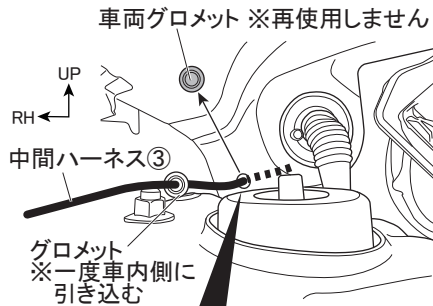
【配線作業-1】

1. 図3のようにエンジンルーム運転席側図示部の車両グロメットを取り外し、車内側ダッシュサイレンサーを車両右側にずらしてダッシュ貫通穴からワイヤーハーネスボックス横まで中間ハーネス③を引き出す。中間ハーネス③のグロメットを一度車内側へ引き込み貫通穴に取り付ける。

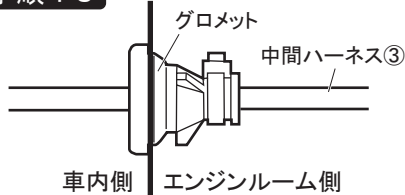
図3

手順：1

[エンジンルーム側]



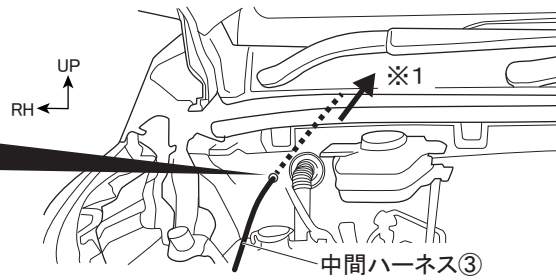
手順：3



水漏れの原因となるため、しっかりと
はまっていることを確認してください。

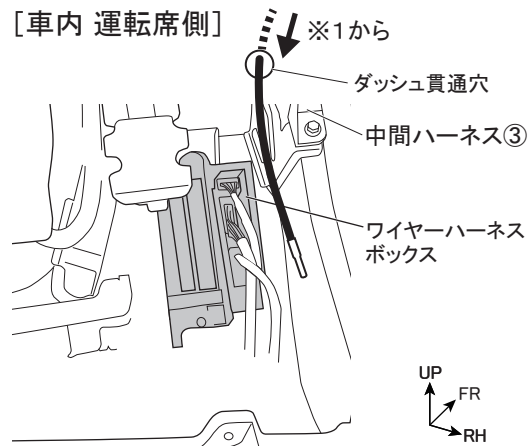
⚠注意：車両グロメットを車内側に
落とさないよう、注意して
ください。

[エンジンルーム運転席側 正面視]



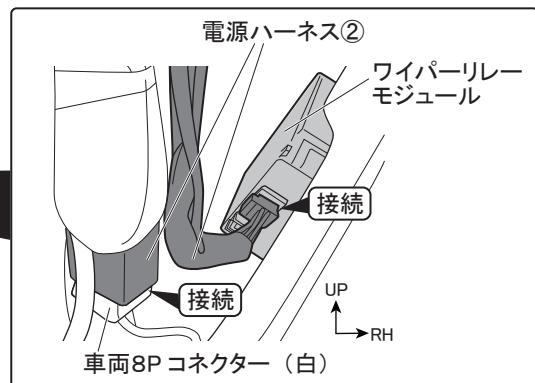
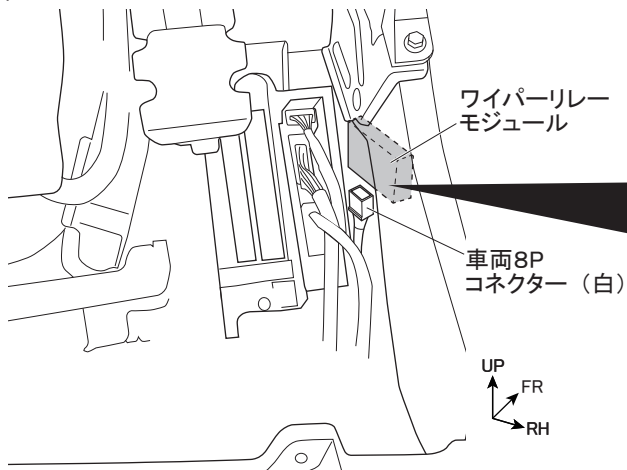
手順：2

[車内 運転席側]



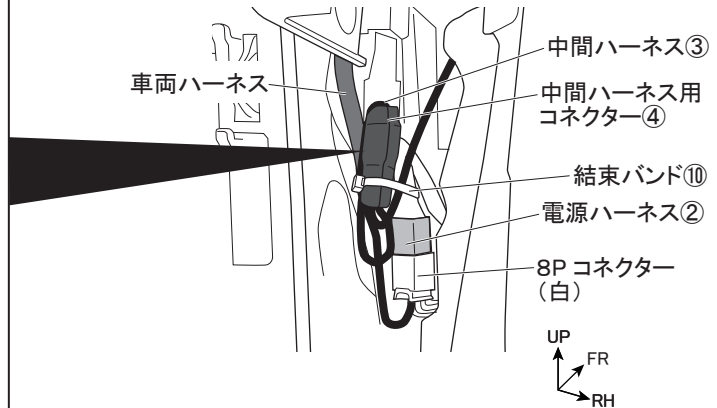
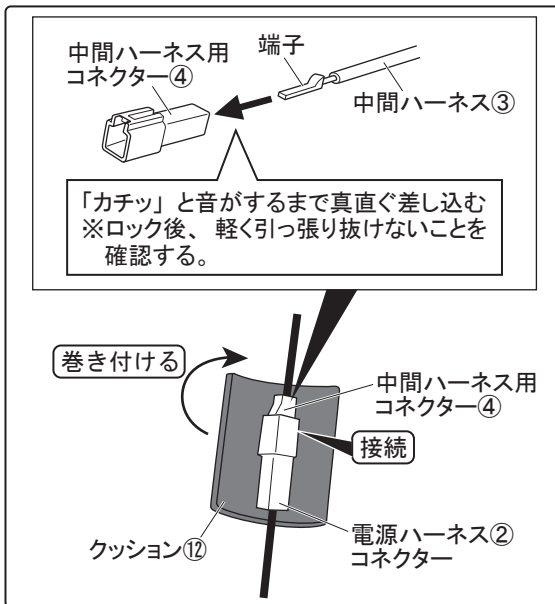
2. 図4のようにワイパーリレーモジュールの 8P コネクタ（白）を外し、電源ハーネス②の 8P コネクタと接続する。

図4



- 図5のように中間ハーネス③の端子部に中間ハーネス用コネクタ④を取り付ける。(1箇所)
- 図5のように電源ハーネス②と中間ハーネス③のコネクタを接続してコネクタ接続部にクッション⑫を巻き付け、余長を束ねて車両ハーネスに結束バンド⑩で固定する。

図5



△注意：結束バンド⑩は、素線に掛からないようにしてください。
また、ハーネスの余長を調整する際は、無理に曲げたり引っ張らないようにしてください。

【点灯確認】

- エンジンルーム側の中間ハーネス③のコネクタとシグネチャーイルミグリル①の2Pコネクタを接続し、中間ハーネス③の丸型端子をフードロック等に仮固定する。
- バッテリーのマイナス端子を取り付け、イグニッション ON の状態にしてシグネチャーイルミグリル①の点灯確認を行う。
点灯確認後、バッテリーのマイナス端子を外す。
- エンジンルーム側の中間ハーネス③のコネクタとシグネチャーイルミグリル①の2Pコネクタを取り外す。

△注意：点灯確認の際に車体およびシグネチャーイルミグリル①を傷付けないようにしてください。

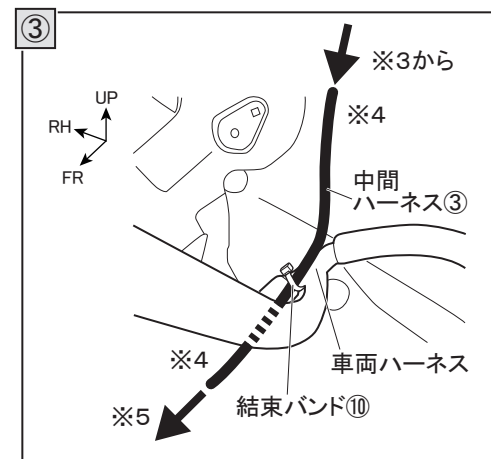
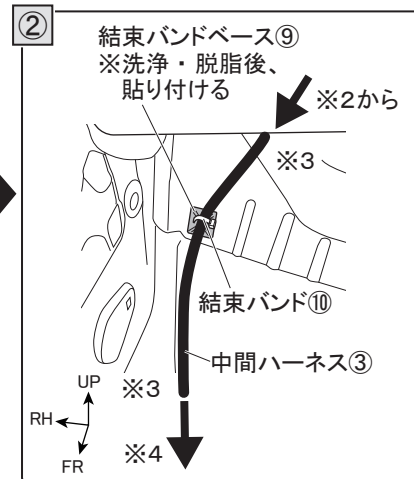
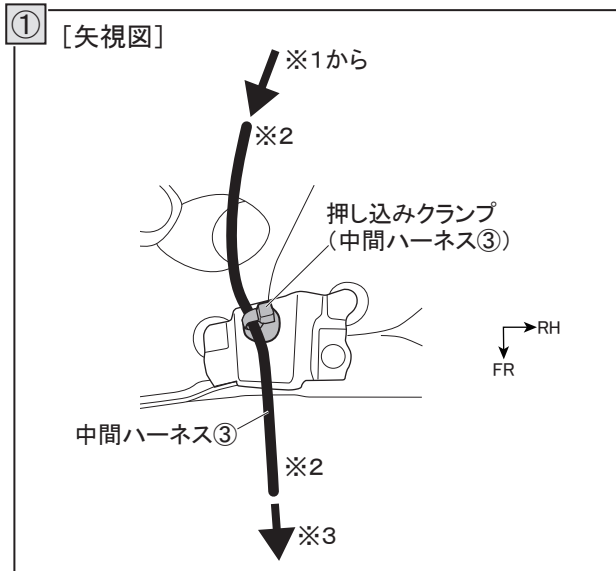
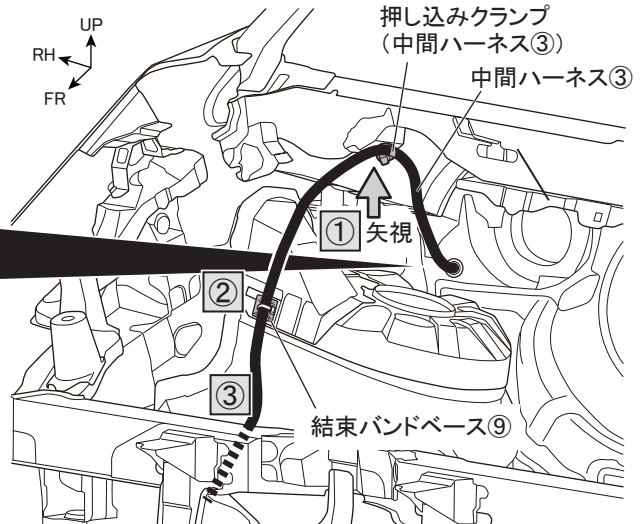
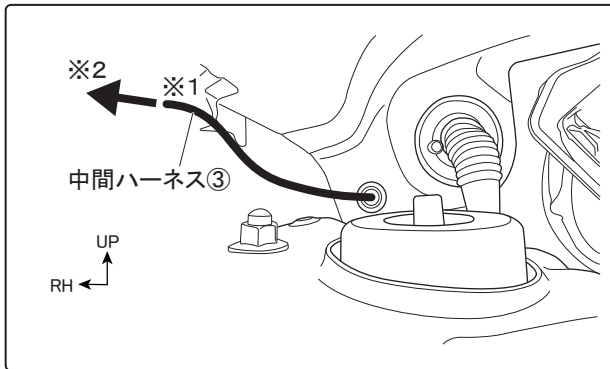
【配線作業 -2】

1. 図6のようにエンジンルーム内に中間ハーネス③を配策し、中間ハーネス③の押し込みクランプを取り付ける。
(図①参照：1箇所)
2. 図6のようにエンジンルーム内に結束バンドベース⑨を貼り付ける。(図②参照：1箇所)

△注意：車両貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂してください。

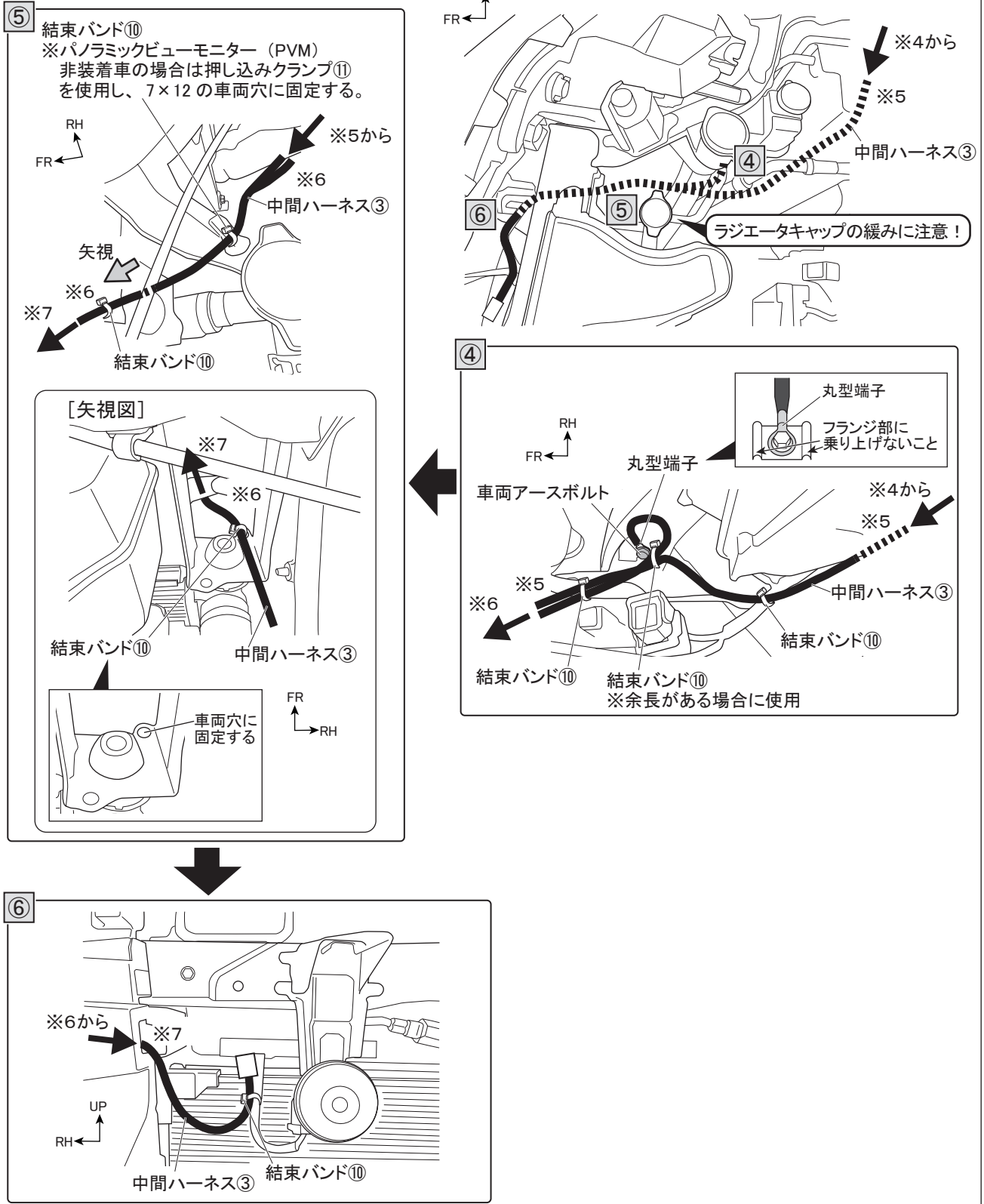
3. 図6のように配策した中間ハーネス③を手順 2. で貼り付けた結束バンドベース⑨と車両ハーネスに結束バンド⑩で仮固定する。(図②③参照：2箇所)

図6



4. 図7のようにエンジンルーム内に中間ハーネス③を配策し、結束バンド⑩で仮固定する。
 (図④⑤⑥参照：6箇所)
 ※パノラミックビューモニター (PVM) 非装着車の場合は、一部結束バンド⑩の代わりに押し込みクランプ⑪を取り付けて固定してください。(図⑤参照：1箇所)
5. 図7のように中間ハーネス③の丸型端子を上から車両アースボルトで締結する。(図④参照：1箇所)
 【車両アースボルト締め付けトルク：10N・m】

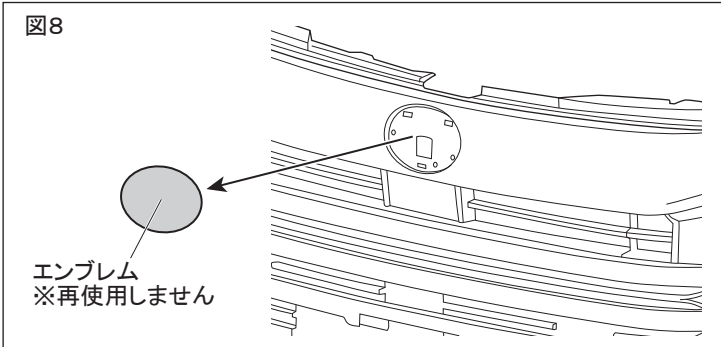
図7



6. 中間ハーネス③の余長を調整し、結束バンド⑩を本締めする。

【フロントバンパーの穴あけ加工】

図8

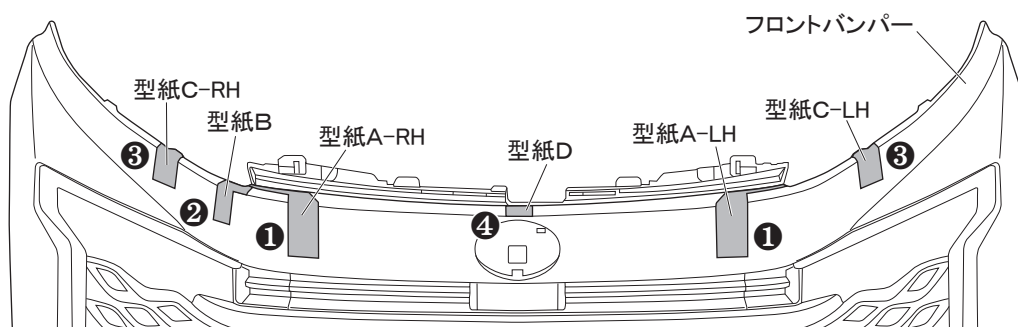
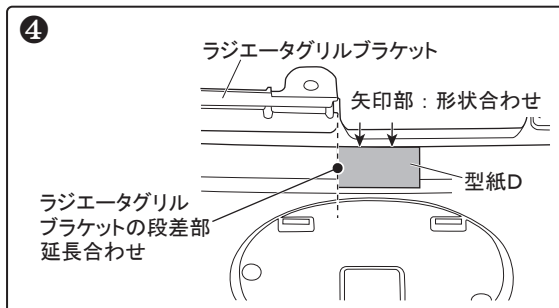
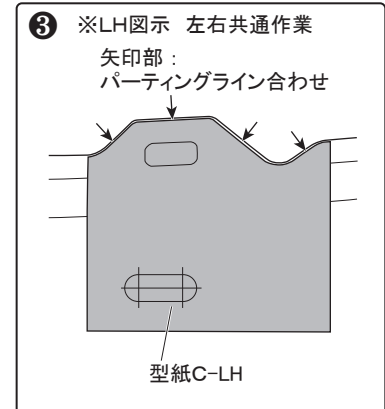
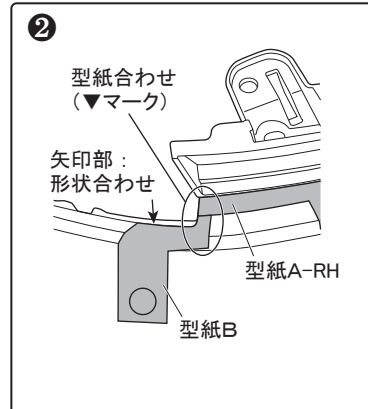


1. 図8のように該当車両の修理書に従い、フロントバンパー中央のエンブレムを取り外す。
(1箇所)

△注意：取り外したエンブレムは再使用しません。

2. 図9のように型紙①A、B、C、Dをフロントバンパーに貼り付ける。(6箇所)

図9



3. 図10のように型紙⑭Eをフロントバンパー裏側、ラジエータグリルブラケットに貼り付ける。(左右各1箇所)

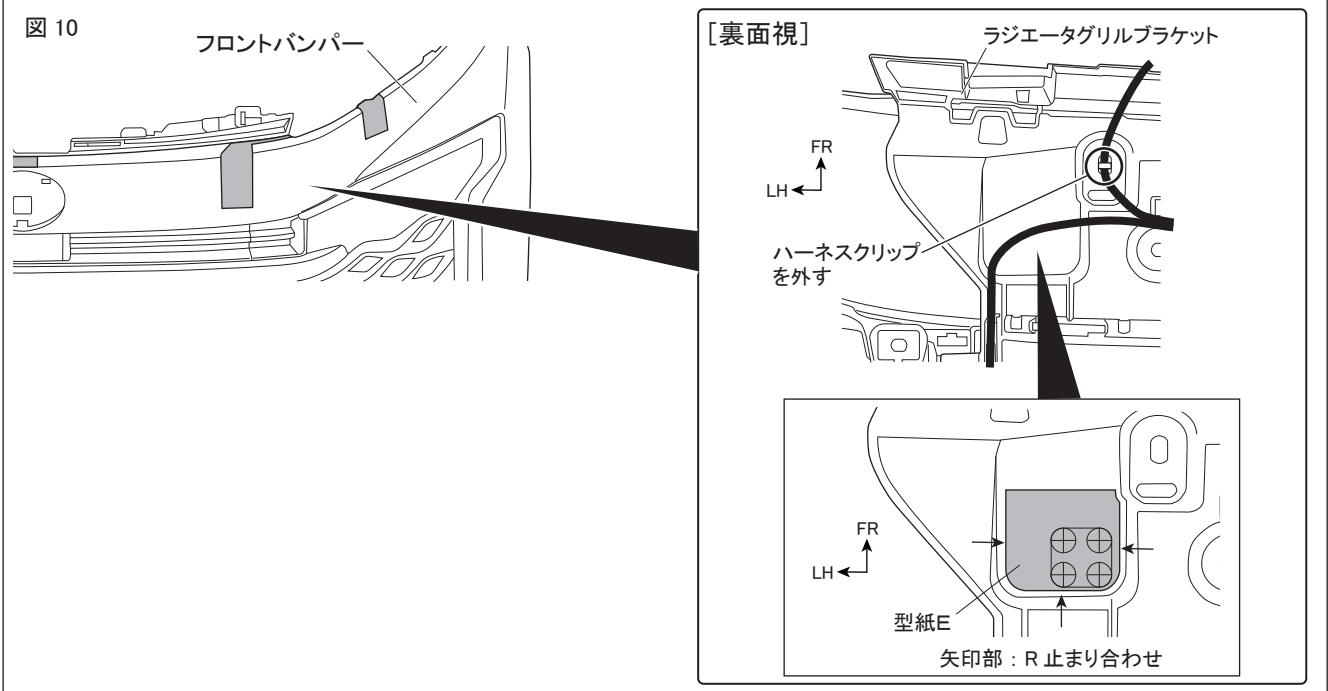
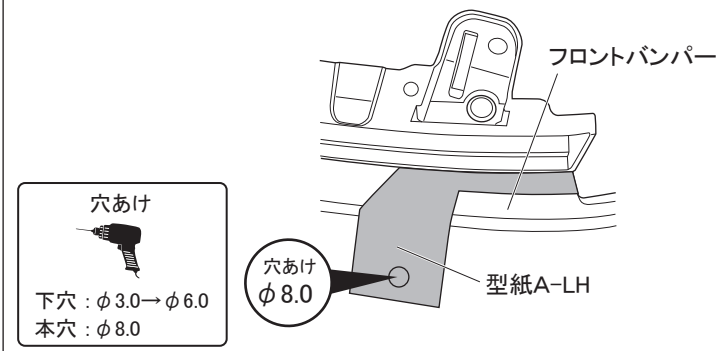


図11 ※LH図示 左右共通作業

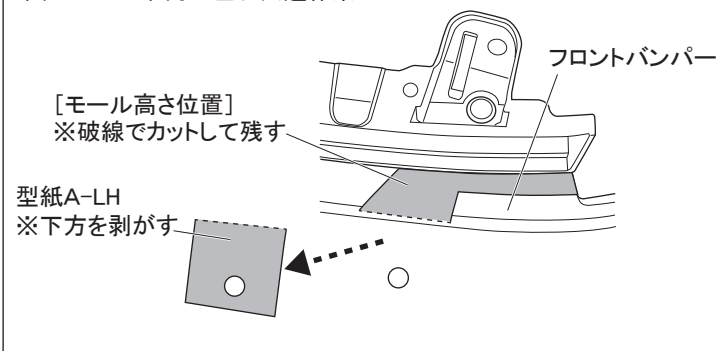


4. 図11のようにフロントバンパーの型紙⑭Aの穴あけ位置に合わせて下穴をφ3.0→φ6.0の順であけ、φ8.0の本穴をあける。(左右各1箇所)

🔧 アドバイス: 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

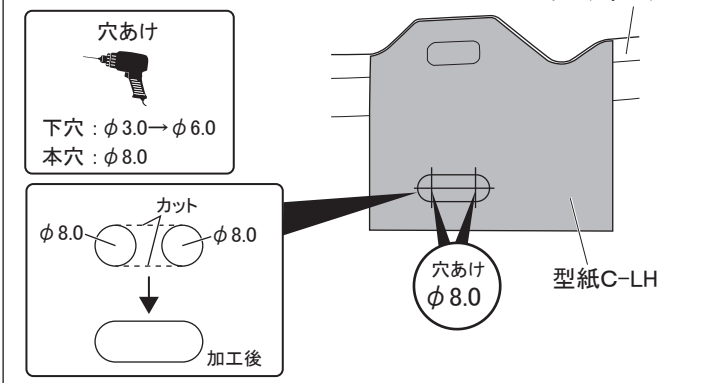
⚠️ 注意: 作業時は保護メガネを着用してください。

図12 ※LH図示 左右共通作業



5. 図12のように型紙⑭Aの破線に沿って切り取り、モール高さ位置を残して下方を剥がし、穴周囲のバリを除去する。(左右各1箇所)

図 13 ※LH図示 左右共通作業



6. 図 13 のようにフロントバンパーの型紙⑭Cの穴あけ位置に合わせて下穴をφ3.0→φ6.0の順であけ、φ8.0の本穴をあけ（左右各2箇所）、φ8.0穴の上下端末を結ぶようにニッパー等でカットする。（左右各1箇所）

👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

⚠️ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

7. 図 14 のように型紙⑭Cの破線に沿って切り取り、上方を剥がし型紙⑭Cの「位置合わせ（マスキングテープ）」に合わせてフロントバンパーにマスキングテープで取り付け高さ位置をマーキングしてから型紙⑭Cの下方を剥がし、穴周囲のバリを除去する。（左右各1箇所）

図 14 ※LH図示 左右共通作業

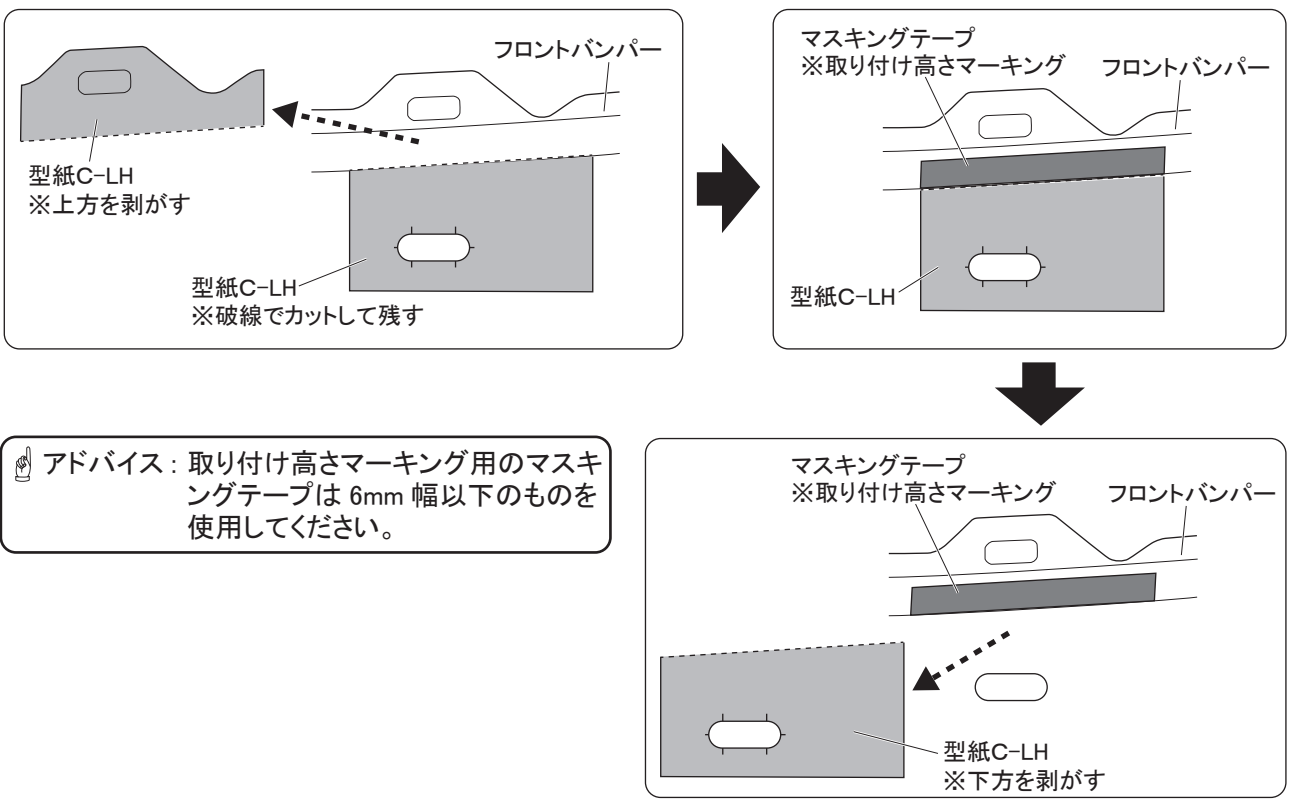
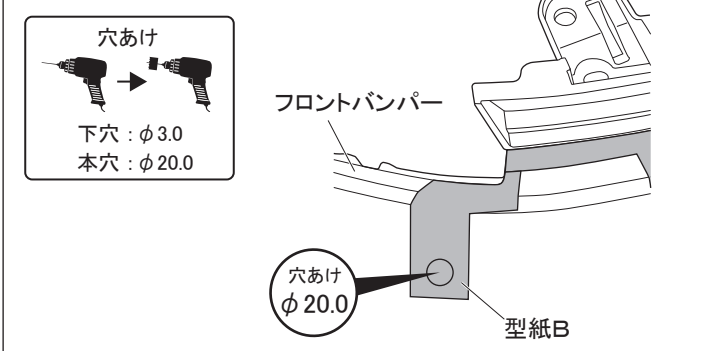


図 15



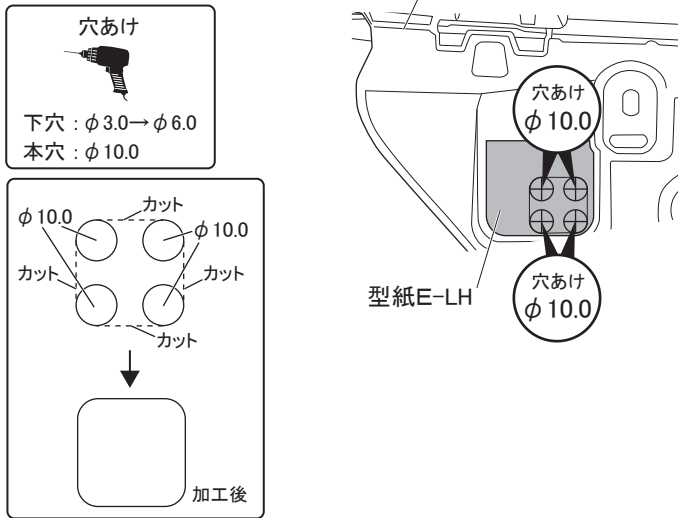
8. 図 15 のようにフロントバンパーの型紙⑭Bの穴あけ位置に合わせてドリルで下穴をφ3.0であけ、ホールソーでφ20.0の本穴をあける。（1箇所）

👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

⚠️ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

9. 型紙⑭Bを剥がし、穴周囲のバリを除去する。（1箇所）

図 16 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



10. 図 16 のようにフロントバンパー裏側、ラジエータグリルブラケットの型紙⑭Eの穴あけ位置に合わせて下穴をφ3.0→φ6.0の順であけ、φ10.0の本穴をあけ（左右各4箇所）、φ10.0穴の周囲端末を結ぶようにニッパー等でカットする。（左右各1箇所）

🔧 アドバイス： 穴あけ作業の際はドリルの刃にガムテープ等を巻き、貫通防止策を施してください。

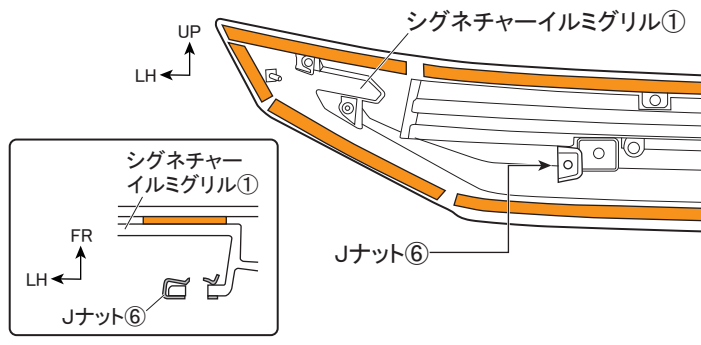
🔧 アドバイス： 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

⚠️ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

11. 型紙⑭Eを剥がし、穴周囲のバリを除去する。（左右各1箇所）

□シグネチャーイルミグリル取付準備 -2

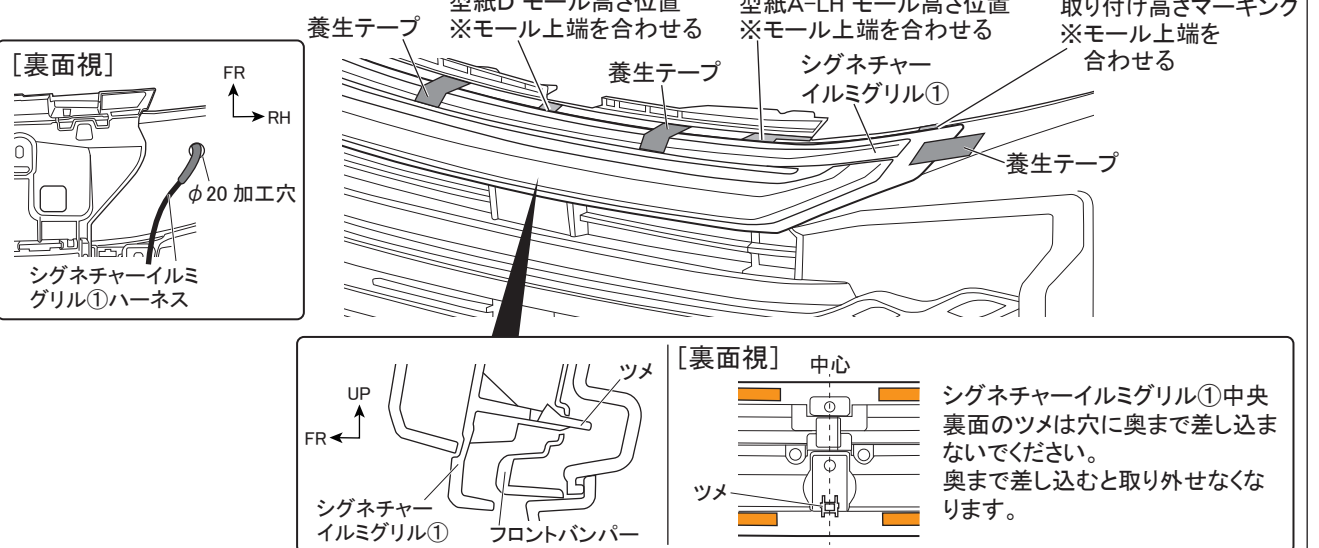
図 17 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



1. 図 17 のようにシグネチャーイルミグリル①裏面にJナット⑥を取り付ける。（左右各1箇所）

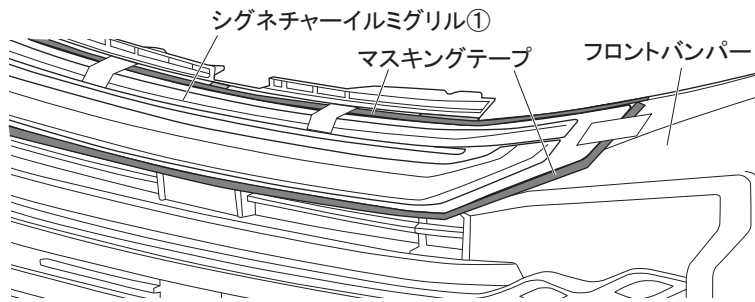
2. 図 18 のようにシグネチャーイルミグリル①のハーネスをφ20加工穴に通し、型紙⑭A、Dのモール高さ位置および取り付け高さマーキングに合わせてシグネチャーイルミグリル①をフロントバンパーにあて、養生テープ等で仮固定する。

図 18 ※LH図示 左右共通作業



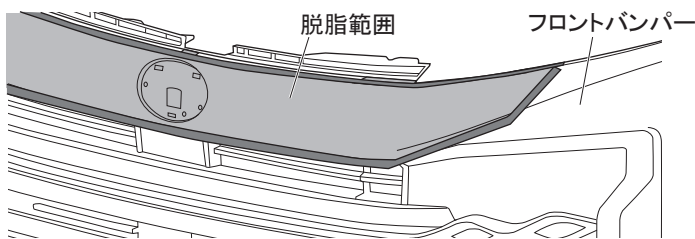
3. 図 19 のようにシグネチャーイルミグリル①上端（モール貼り付け部はモール上端）に合わせてフロントバンパーにマスキングテープを貼り付ける。

図 19 ※LH図示 左右共通作業



△注意：PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

図 20 ※LH図示 左右共通作業



👉アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

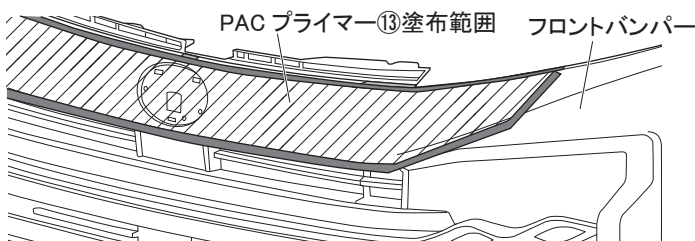
4. シグネチャーイルミグリル①を取り外す。

5. 図 20 のようにシグネチャーイルミグリル①の両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して火気を近づけないようにしてください。

図 21 ※LH図示 左右共通作業

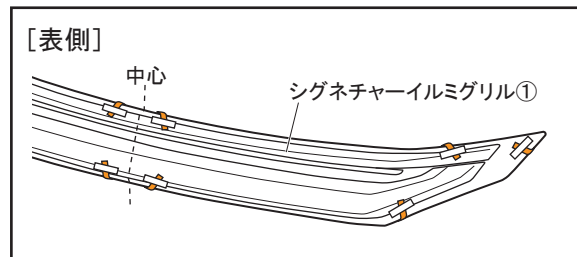
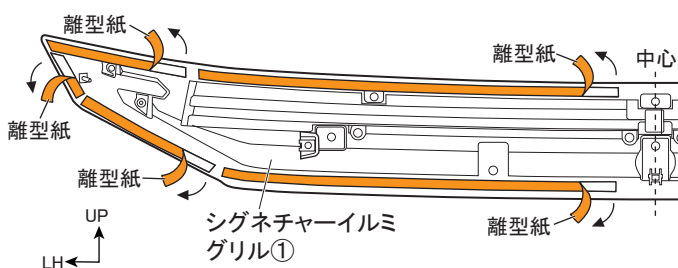


6. 図 21 のようにシグネチャーイルミグリル①の両面テープ貼り付け部（左図斜線部）にPACプライマー⑬を塗布する。

△注意：PACプライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

7. マスキングテープを剥がす。
※型紙⑭A、Dおよび取り付け高さマーキングは剥がさないでください。
8. 図 22 のようにシグネチャーイルミグリル①裏側の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼り付ける。（左右各5箇所）

図 22 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



□シグネチャーイルミグリル取付要領

1. 図 23 のようにシグネチャーイルミグリル①のハーネスをφ20 加工穴に通し、型紙⑭A、Dのモール高さ位置および取り付け高さマーキングに合わせてシグネチャーイルミグリル①をフロントバンパーにあて、中心部裏側のツメをフロントバンパーのエンブレム台座部の穴に差し込む。

図 23 ※LH図示 左右共通作業

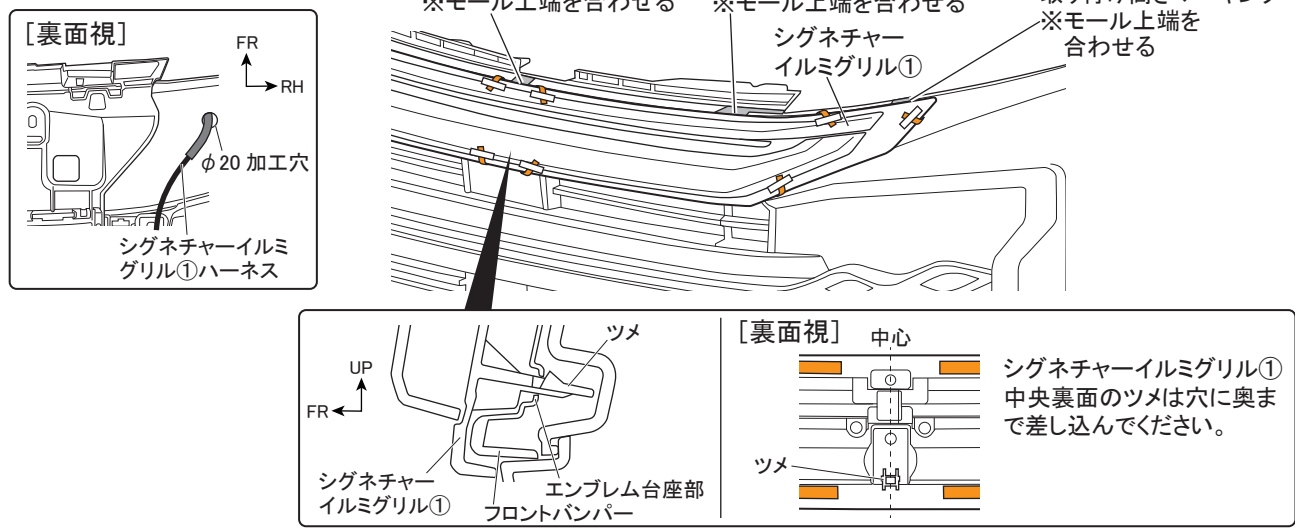
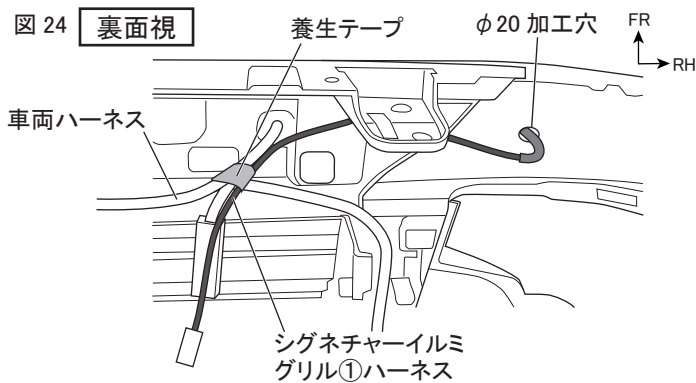
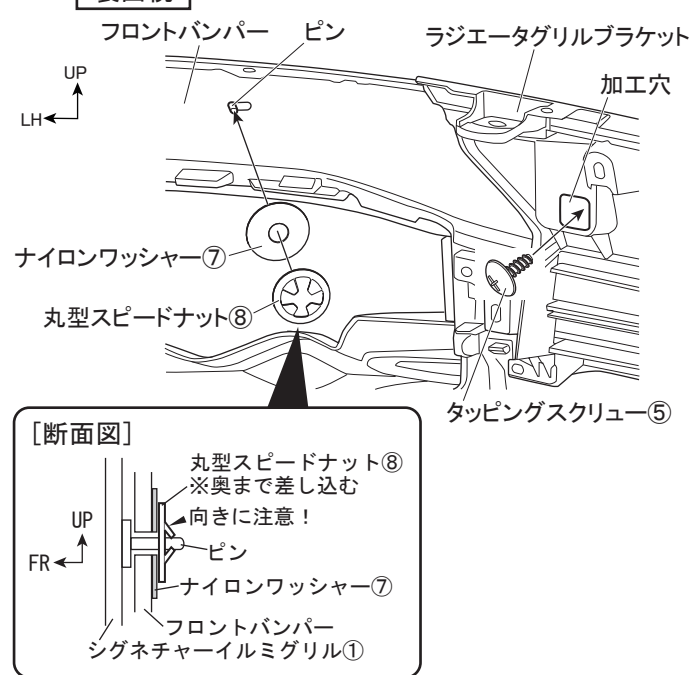


図 24 裏面視



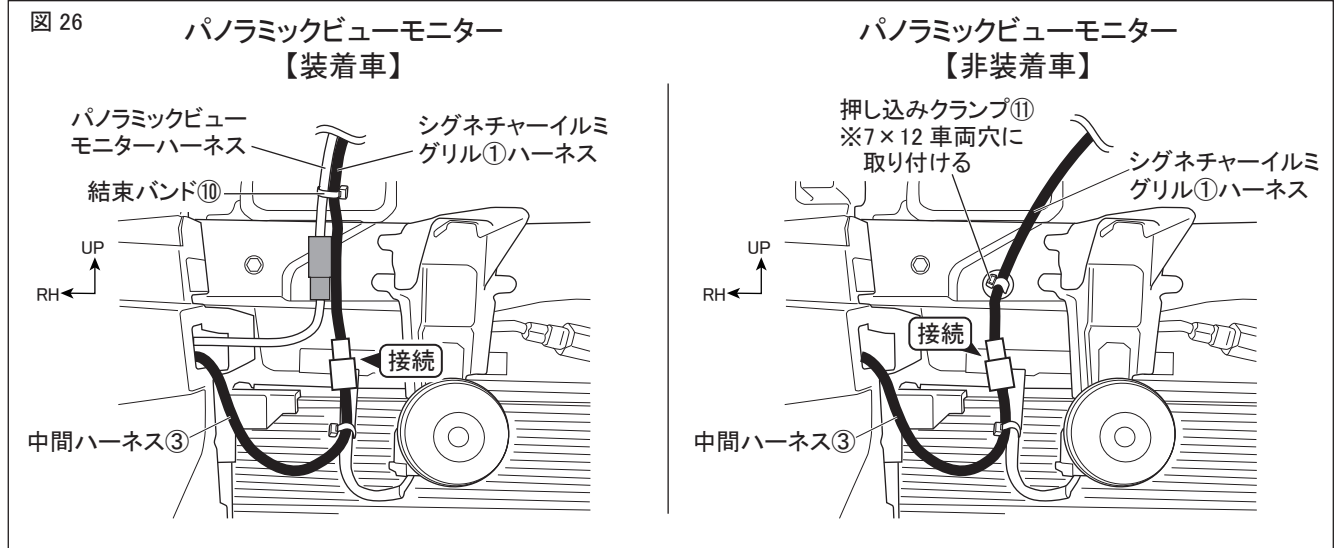
2. 図 24 のようにシグネチャーイルミグリル①のハーネスをフロントバンパー裏側の車両ハーネスに養生テープで仮固定する。

図 25 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



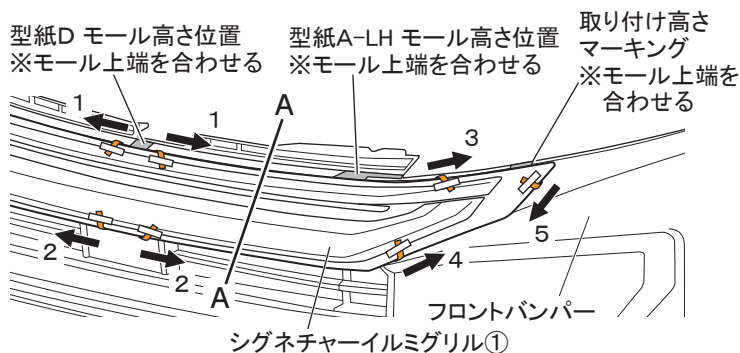
3. 図 25 のようにフロントバンパー裏側からシグネチャーイルミグリル①裏側のピンにナイロンワッシャー⑦を通し、丸型スピードナット⑧で固定する。(左右各1箇所)
4. 図 25 のようにフロントバンパー裏側ラジエータグリルブラケットにあけた加工穴からシグネチャーイルミグリル①をタッピングスクリュー⑤で仮締めする。(左右各1箇所)
5. 該当車両の修理書に従い、フロントバンパーを復元する。

6. 図 26 のように中間ハーネス③を配策し、シグネチャーイルミグリル①のハーネスのコネクターと接続し、パノラミックビューモニター (PVM) のハーネスに結束バンド⑩で固定する。(1箇所)
 ※パノラミックビューモニター (PVM) 非装着車の場合は、結束バンド⑩の代わりに押し込みクランプ⑪を 7×12 車両穴に取り付けて固定してください。

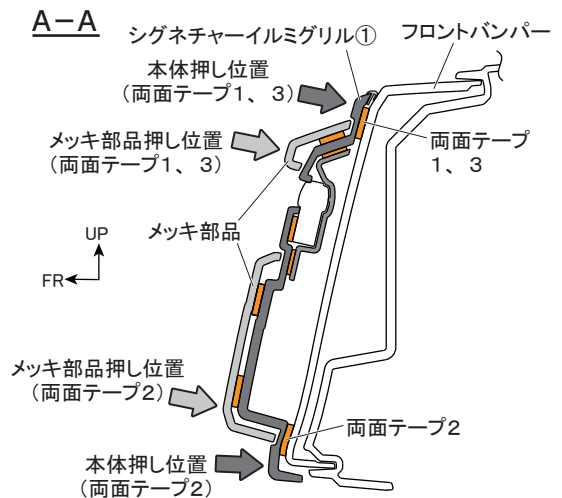


7. 図 27 のように型紙⑭A、Dのモール高さ位置および取り付け高さマーキングにシグネチャーイルミグリル①を合わせながら1～3の両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。
 4、5は連続して離型紙を剥がした後に圧着する。
 8. タッピングスクリー⑤を本締めする。(左右各1箇所)

図 27 ※LH図示 左右共通作業



△注意: フロントバンパー裏側に手を入れ、表裏双方から圧着してください。



△注意: 両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙や浮き剥がれが発生するおそれがあります。

△注意: 両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行ってください。

△注意: 両面テープ1～3圧着時、製品本体だけでなくメッキ部品の上からも押し当ててください。



アドバイス 両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。製品の取り付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、掛からないようにオープンタイム(静止時間)お取りください。



警告 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

9. 型紙⑭A、Dおよび取り付け高さマーキングを剥がす。(5箇所)
10. シグネチャーイルミグリル①の取り付け状態を確認し、両面テープ貼り付け部を再圧着する。
11. 該当車両の修理書に従い、インパネブレース No.3、ワイヤーハーネスボックス、内装パネルを復元する。
12. バッテリーのマイナス端子を取り付ける。

■シグネチャーイルミグリル取り付け後の確認・注意事項

- ・ハーネスに無理な力が掛かっていないか、噛み込みや鋭利なエッジに干渉が無いことを確認する。
- ・イグニッション ON の状態にしてランプの点灯確認を行う。

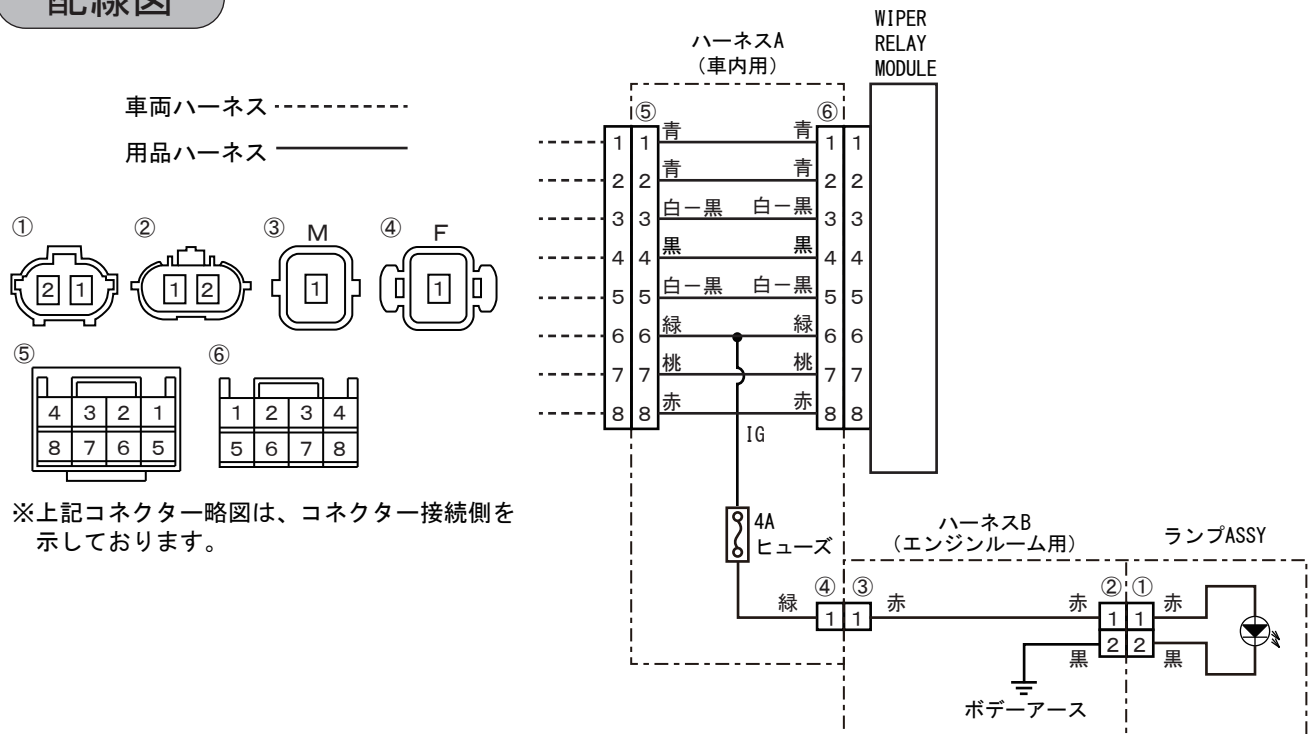
■取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びシグネチャーイルミグリル廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。
4. 作業終了後は各システムの設定・確認を行ってください。
(車両修理書「バッテリーターミナル脱着時の設定 / 作業」を参照)

重要！！

分解・脱着した部位以外でも周辺部位に触れて、ラジエータキャップの緩みや周辺部品の変形などが発生することがあります。作業後は必ず、確認を行なってください。

配線図



株式会社トヨタカスタマイジング & ディベロップメント

モデリスタ商品問い合わせ窓口

TEL:050-3161-1000

<https://www.modellista.co.jp/>

MSD12-28001-A01

